

日米印外相会合
共同メディアノート（仮訳）
（２０１５年９月２９日 於：ニューヨーク）

１．９月２９日、ニューヨークにおける第７０回国連総会のサイドラインにおいて、ジョン・ケリー米務長官が主催し、スシュマ・スワラージ・インド外相及び岸田外務大臣とともに、初の日米印外相会合を行った。世界の人口と経済生産力の４分の１を占める日米印の三カ国は、平和、民主主義、繁栄及びルールに基づく国際秩序への共通の支持を強調した。

２．日米印三カ国の外相は、インド太平洋地域における三カ国の利益の更なる一致を強調した。日米印の外相は、南シナ海におけるものを含め、国際法及び紛争の平和的解決、航行及び上空飛行の自由、並びに阻害されない法に従った通商活動の重要性も強調した。日米印の外相は、アジア太平洋地域での多国間の政治・安全保障機構におけるＡＳＥＡＮの中心性への支持を改めて表明し、同地域における主要な政治・安全保障上の課題に取り組むための首脳級フォーラムとして東アジア首脳会合の重要性を強調した。

３．日米印三カ国は、更なる協力を通じて海上安全保障を維持するために共に取り組んでいくことに一致した。米印は、米印主催海上共同訓練（マラバール２０１５）への日本の参加を歓迎した。日米印三カ国の広範な防災対応能力や利益の合致を認識し、三カ国は、複雑な災害に合同で対応するための能力を高めるための人道支援及び災害救援に関する専門家レベル・グループの会合を開催することに一致した。

４．地域の経済的連結性を促進するに当たって集団的な能力を活用する努力の一環として、日米印三カ国の外相は、南アジア・東南アジア間を含めた地域連結性の強化を支援し得る協調的な取組を特定するため、地域連結性に関する専門家レベルの会合を開催することで一致した。三カ国の外相は、社会的経済的開発を促進するため、女性の能力強化及び経済的なエンパワメントに関する三カ国間の協力を模索することに関心を表明した。

５．日米印三カ国の外相は皆、協力強化のためのプラットフォームとして初の日米印外相会合を歓迎し、再会することに関心を表明した。

（了）